

受益者の皆様へ

三井住友アセットマネジメント株式会社

国内株式市場の下落について
(基準価額の変動要因についてのお知らせ)

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成 20 年 11 月 6 日、わが国の株式市場は大きく下落し、一部弊社ファンドの基準価額が前日比 5% 超下落しました。以下に、ファンド状況と基準価額の下落要因のご報告をいたします。

(1) 基準価額前日比 5% 超下落ファンド名とその状況 (平成 20 年 11 月 6 日現在)

ファンド名	基準価額 (円)	前日比 (円)	下落率 (%)
三井住友・ス・パ・アクティブ・オ・ブン	2,084	-210	-9.15%
ちば興銀株価指数参照ファンド2006 - 3	4,469	-387	-7.97%
三井住友・条件付インカム確保型ファンド'07 - 08	4,804	-399	-7.67%
ちば興銀株価指数参照ファンド2006 - 1 - 65	4,702	-379	-7.46%
三井住友・株価指数参照ファンド'06 - 09	5,216	-420	-7.45%
インカム追求型株式投信0706	5,062	-402	-7.36%
インカム追求型株式投信0709	5,554	-440	-7.34%
インカム追求型株式投信0707	5,152	-405	-7.29%
インカム追求型株式投信0705	5,171	-405	-7.26%
システム リバランス オープン	4,950	-359	-6.76%
条件付元本確保型収益分配ファンド2006 - 9	5,127	-371	-6.75%
三井住友・条件付インカム確保型ファンド'06 - 09	5,094	-366	-6.70%
三井住友・条件付インカム確保型ファンド'06 - 12	5,163	-367	-6.64%
三井住友・条件付インカム確保型ファンド'07 - 02	5,070	-356	-6.56%
三井住友・株価指数参照ファンド2008 - 05	6,690	-465	-6.50%
三井住友・株価参照型ファンド2008 - 8	7,162	-490	-6.40%
三井住友・株価指数参照ファンド'07 - 08	5,250	-352	-6.28%
条件付元本確保型収益分配ファンド2007 - 6	4,704	-309	-6.16%
ちば興銀株価指数参照ファンド2007 - 7 - 65	4,714	-309	-6.15%
ちば興銀株価指数参照ファンド2007 - 10 - 100	5,611	-356	-5.97%
ちば興銀株価指数参照ファンド2007 - 10 - 105	5,332	-334	-5.89%
三井住友・条件付インカム確保型ファンド'07 - 06	4,826	-299	-5.83%
ちば興銀株価指数参照ファンド2006 - 11 - 100	5,366	-331	-5.81%
三井住友・バリュー株式年金ファンド	7,192	-443	-5.80%
ちば興銀株価指数参照ファンド2007 - 7 - 55	4,671	-287	-5.79%
メイプル ジャパンオープン	3,224	-196	-5.73%
ワールドテクノロジー・ファンド	2,478	-149	-5.67%
三井住友・株価参照ファンド2007 - 12	6,151	-367	-5.63%
三井住友・条件付インカム確保型ファンド'07 - 10	5,338	-318	-5.62%
三井住友・株価指数参照ファンド2008 - 03	7,238	-431	-5.62%

この資料は、三井住友アセットマネジメント株式会社が作成したものです。(社)投資信託協会規則に基づき制定した弊社社内ルールに従い、受益者の方に「ファンドの基準価額に重大な影響を与えた内容の開示」を行う受益者様用資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。この資料に基づいて取られた投資行動の結果については、弊社は責任を負いかねますので、あらかじめご承知ください。この資料の内容・コメントは、作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。投資信託は、クローズド期間、国内外の休祭日の取扱い等により、換金等が出来ないことがありますので、目論見書の記載にご注意ください。この資料は、弊社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者許諾者に帰属します。この資料に市場環境、運用・分配金実績、運用方針等が示される場合、それらは本ファンドの資料作成時点若しくはそれ以前に属するものであり、将来の状況・成果等を保証するものではありません。分配金は金額が変わる、又は分配金が支払われない場合もあり、将来に關し述べられた運用方針も変更される事があります。

ファンド名	基準価額(円)	前日比(円)	下落率(%)
三井住友・ダブル・バリュー・ファンド	5,476	-326	-5.62%
三井住友・日本株式年金ファンド	4,845	-285	-5.56%
三井住友・株価参照ファンド2008-03	7,246	-426	-5.55%
三井住友・フォーカス・ジャパン・オープン	5,264	-308	-5.53%
三井住友・DC国内株式アクティブS	7,686	-448	-5.51%
三井住友・日本株Newバリューオープン	6,404	-373	-5.50%
ちば興銀株価指数参照ファンド2007-4-春のひだまり	4,740	-276	-5.50%
三井住友・インカム確保型株価参照ファンド07-06	5,258	-306	-5.50%
リサーチ&トレンド・オープン	3,596	-209	-5.49%
三井住友・アクティブ・オープン	3,177	-183	-5.45%
ちば興銀株価指数参照ファンド2006-12	4,891	-280	-5.41%
三井住友・日本株グロース・オープン	2,390	-136	-5.38%
三井住友・日本株・成長力ファンド	4,597	-260	-5.35%
ウツミ屋 日本株ファンド「あゆみ」	5,501	-310	-5.33%
三井住友・ハイ・シェアーズ・オープン	5,344	-299	-5.30%
コスモ「新時代」日本株ファンド	4,837	-270	-5.29%
ちば興銀株価指数参照ファンド2007-4-春のおとずれ	4,699	-262	-5.28%
三井住友・ライフビュー・日本株式ファンド	5,617	-310	-5.23%
三井住友・日本株・競争力ファンド	4,451	-245	-5.22%
21世紀ファンド	3,970	-217	-5.18%
三井住友・NEO(ネオ)ファンド	3,067	-167	-5.16%
シナプス	3,355	-182	-5.15%
三井住友・株式アナライザー・オープン	4,159	-225	-5.13%
三井住友・日本株オープン	5,898	-318	-5.12%
ちば興銀株価指数参照ファンド2006-11-105	5,177	-278	-5.10%
ちば興銀株価指数参照ファンド2006-7-110	5,233	-281	-5.10%
三井住友・株価参照型ファンド2008-5	7,016	-370	-5.01%

注)私募ファンド、マザーファンド、ブル・ベア型ファンド、指数連動型ファンド、一定のレバレッジ効果追求型ファンドにつきましては本規則の開示対象外としています。

(2) 基準価額の変動要因について

6日の国内株式市場は大幅に下落しました。日経平均株価の終値は8,899.14円と前日比 622.10円(下落率 6.53%)、TOPIXは終値909.30ポイントで同 57.61ポイント(同 5.96%)となりました。

前日(5日)の米国株式市場が景気指標の悪化や大統領選挙後の材料出尽くし感から大幅に下落したことを受け、翌6日の国内株式市場も急落して始まりました。また、10月27日を底として短期間に大きく反発していたことも、本日の下落幅を拡大させた要因と考えられます。

10月初日から直近11月6日に至るまで、日経平均株価が一日で5%超上昇した日数は5営業日、また5%超の下落は8営業日と、株式市場の日々の変動性は依然として高い状況が続いております。

国内株式市場動向

(株式)

国・地域	株式指数	終値	騰落率
日本	TOPIX	909.30	-5.96%
	日経平均株価	8,899.14	-6.53%

終値:11月6日 騰落率:11月5日比

(出所)Bloombergなどのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

この資料は、三井住友アセットマネジメント株式会社が作成したものです。(社)投資信託協会規則に基づき制定した弊社社内ルールに従い、受益者の方に「ファンドの基準価額に重大な影響を与えた内容の開示」を行う受益者様用資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。この資料に基づいて取られた投資行動の結果については、弊社は責任を負いかねますので、あらかじめご承知ください。この資料の内容・コメントは、作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。投資信託は、クローズド期間、国内外の休祭日の取扱い等により、換金等が出来ないことがありますので、目論見書の記載にご注意ください。この資料は、弊社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者許諾者に帰属します。この資料に市場環境、運用・分配金実績、運用方針等が示される場合、それらは本ファンドの資料作成時点若しくはそれ以前に属するものであり、将来の状況・成果等を保証するものではありません。分配金は金額が変わる、又は分配金が支払われない場合もあり、将来に關し述べられた運用方針も変更される事があります。

(3) 今後の見通し

日米欧など世界各国において協調利下げや金融機関への公的資金注入等の金融安定化策が発動され、景気対策も検討されております。株式市場は金融不安沈静化に向けた世界各国の協調行動を概ね好意的に捉え、金融不安に伴う株式市場の混乱はひとまず落ち着きを取り戻しつつあります。しかし、金融市場の混乱が実体経済へと波及し、世界的な景気悪化が一段と強まっていることから、株式市場が持続的な上昇に移行するにはまだ暫く時間を要すると思われれます。

今後のポイントは、世界的な景気減速に対して各国が打ち出す景気対策の内容と実効性を見極めること、更に実体経済と企業業績がどの程度悪化に向かい、株式市場はそれを何時どの水準で消化するのが重要と考えます。

来年前半までは欧米各国が景気後退局面にあることや、新興国の需要減速が続くことにより、国内経済も軟調に推移することを見通します。企業業績も総じて下方修正基調にあることから、株式市場は当面下振れリスクを伴いながら不安定な展開が想定されます。来年後半には、米国住宅価格の下げ止まりや、金融機関の融資厳格化による経済活動を抑制する力も緩和に向かい、世界的に景気は底打ちから緩やかながらも回復に転じる見通しです。株式市場は景気に先行する傾向があるため、来年前半には徐々に下値を切り上げる可能性が高いと見ています。

以上